

## 日野市における行政評価システムは…

日野市では、市の第4次基本構想・基本計画（「ひのいいプラン2010」平成13年3月策定。以下「2010プラン」という。）により、まちづくりを進めています。市が2010プランを効果的・効率的に実現するためには、市民ニーズに合った行政サービスが適切に提供されているか、無駄なく税金が使われているかなど、サービスをチェックする体制の整備が求められています。また、新たな行政課題への対応や事務事業の見直しなど、市の施策に市民意見が反映される仕組みづくりが必要になっています。

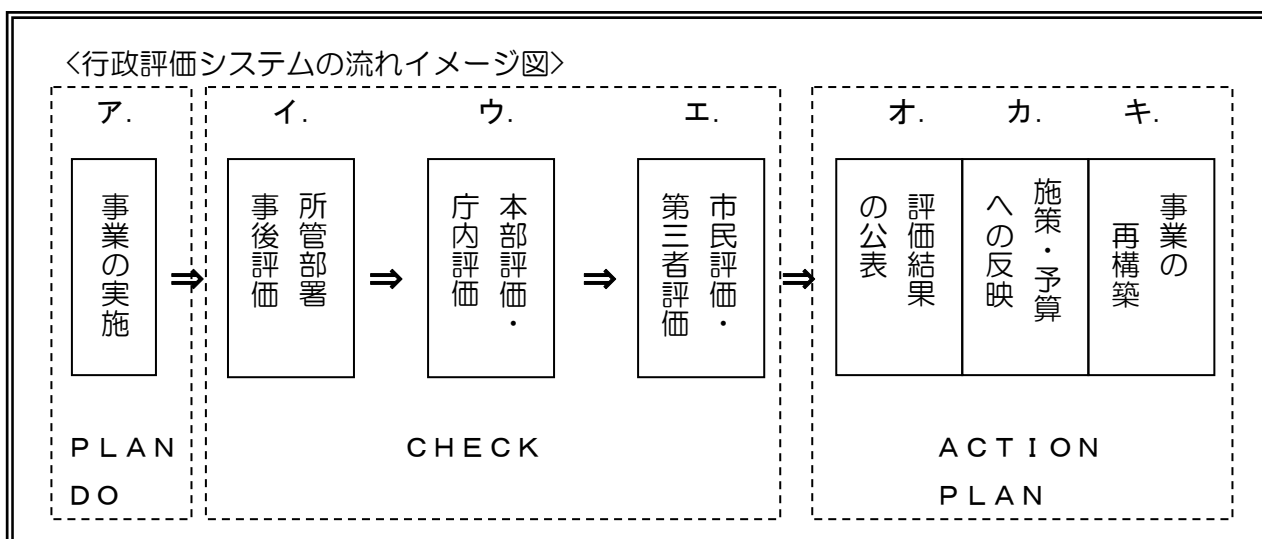
このため、市では平成16年度に実施した事務事業評価に、第三者の客観的な視点の評価を加え、平成17年度から本格的に「行政評価システム」として、市民意見を施策に反映する仕組みを「市民評価」として整えました。以下では市の「行政評価システム」についての考え方、平成18年度の評価結果をお知らせいたします。

### 〈行政評価システム導入の目的〉

- (1) 市の行っている行政施策全般を、市民と行政が共に確認できる体制を確立
- (2) 施策の実施における課題や事務事業の効率化等への改善点などを明らかにして、市の政策・施策に反映する（行財政改革の視点、職員の意識改革）
- (3) 新たに発生した行政課題の解決に向けた政策及び施策の方向性を示す

### 〈日野市における行政評価システムの仕組み（PDCAサイクル）〉

行政評価システムを市政運営の一連の流れとして位置づけています（下図）。



- ア. 事業の実施（PLAN）（DO）
- イ. 所管部署評価（CHECK）
- ウ. 本部評価（庁内評価）（CHECK）
- エ. 市民評価（第三者評価）（CHECK）
- オ. 評価結果の公表（ACTION）
- カ. 市の施策・次年度以降予算への反映（ACTION）
- キ. 事業の再構築（PLAN）

- ア. **事業の実施**…事業を所管する各部署で年度計画（PLAN）に沿って事業を実施します（DO）。
  - イ. **所管部署評価**…事業を所管する各部署で事業実施後に評価を行います。事業概要、コスト、実績・成果等について評価します（CHECK）。
  - ウ. **本部評価（庁内評価）**…助役、企画部長、行革担当参事、企画調整課長、財政課担当、行政管理担当で評価チームをつくり、各部署の評価内容についてヒアリングを行い、事業の進捗状況、評価内容の確認、成果等の聞き取りを行います。このヒアリングの資料を基に、市として本部評価を行いません（CHECK）。評価の結果は次年度の予算編成に反映させます。
  - エ. **市民評価（第三者評価）**…公募した市民でチームをつくり、“生活者の視点”“市民の立場”から各部署の評価内容についてヒアリングを行います。このヒアリングを基に、第三者の視点で市民評価を行います（CHECK）。評価結果は次年度以降の予算に反映させ、次年度の施策・事業の展開に活用します。
  - オ. **評価結果の公表**…市民評価まで実施した事業について、各部署の評価、本部評価、市民評価の結果をまとめて公表いたします（ACTION）。
  - カ. **次年度以降予算への反映**…本部評価・市民評価の結果は、次年度以降の予算編成、経常経費の部配当方式の優先順位、予算査定等の資料として活用します（ACTION）。
- 市の施策への反映**…市民評価の過程で、市民の視点から市の施策等に関する提案があった場合には、施策の展開や主要事業の選定に活用し、次年度以降の事業計画に活用いたします（ACTION）。